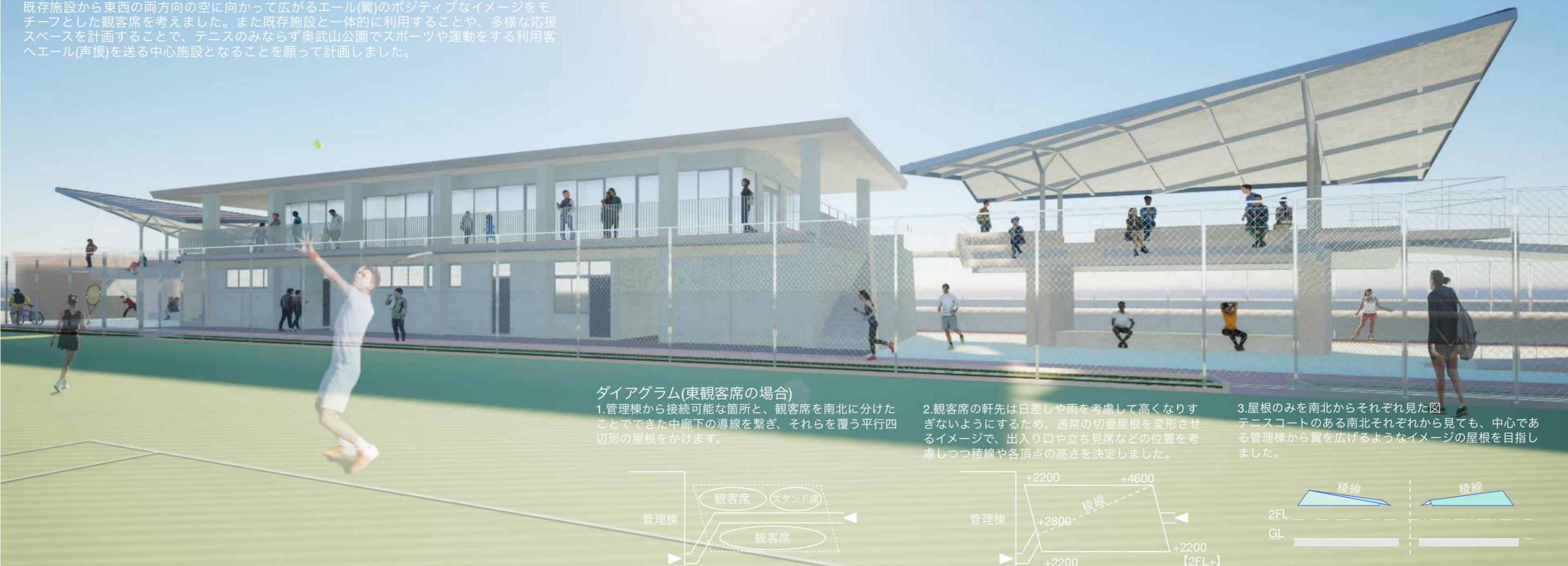


エールの広がるテニスコート



コンセプト

テニスのサーブやスマッシュなどの両手を空に向かって広げる基本動作から着想を得て、既存施設から東西の両方向の空に向かって広がるエール(翼)のポジティブなイメージをモチーフとした観客席を考えました。また既存施設と一体的に利用することや、多様な応援スペースを計画することで、テニスのみならず奥武山公園でスポーツや運動をする利用者へエール(声援)を送る中心施設となることを願って計画しました。

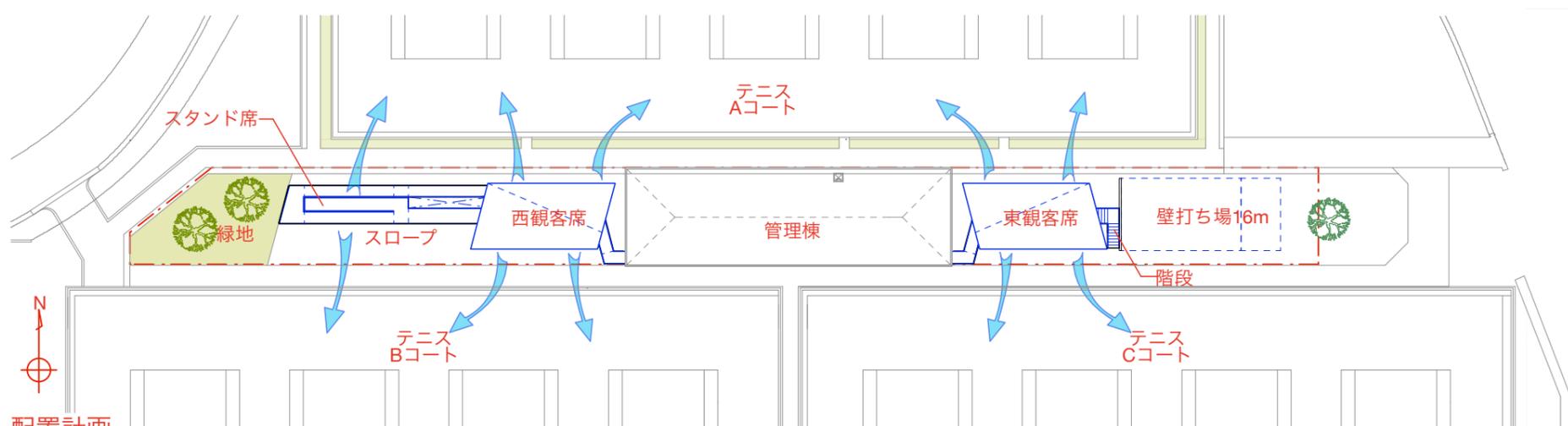
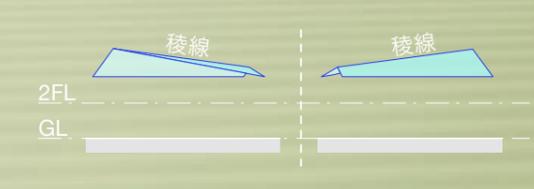
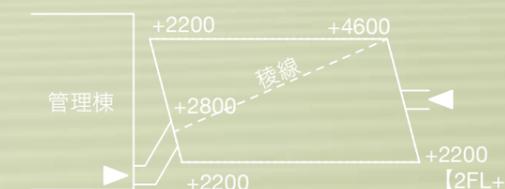
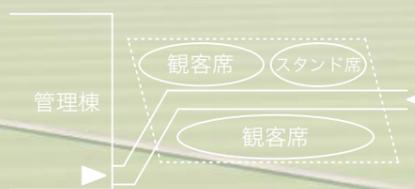


ダイアグラム(東観客席の場合)

1.管理棟から接続可能な箇所と、観客席を南北に分けたことでできた中廊下の導線を繋ぎ、それらを覆う平行四辺形の屋根をかけます。

2.観客席の軒先は日差しや雨を考慮して高くなりすぎないようにするため、通常の切妻屋根を変形させるイメージで、出入口や立ち見席などの位置を考慮しつつ稜線や各頂点の高さを決定しました。

3.屋根のみを南北からそれぞれ見た図。テニスコートのある南北それぞれから見ても、中心である管理棟から翼を広げるようなイメージの屋根を目指しました。



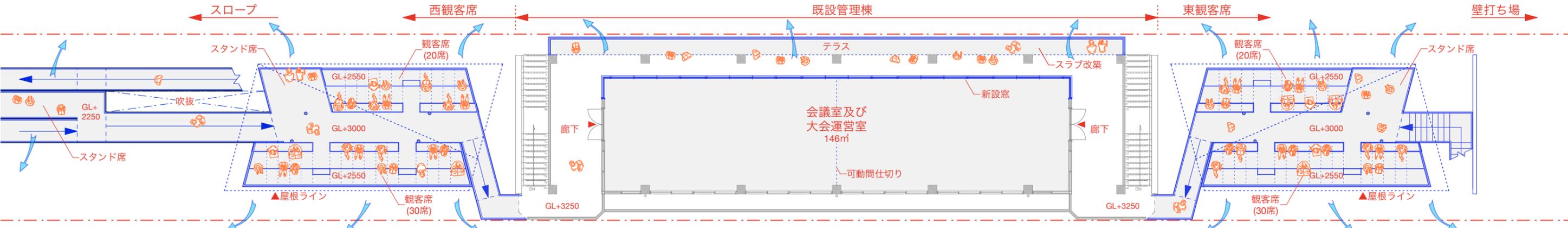
配置計画

- ・既存の管理棟に機能を集中させ、そこから増築した観客席と休憩所、屋根が東西に広がり、そこから南北に広がるように配置計画を行いました。
- ・各観客席の先にはスロープと階段、壁打ち場を配置することで敷地全体がテニスコートと一体的に利用でき、施設全体として回遊性のある建物としています。
- ・西側のスロープは、今後車椅子テニスの活用やご高齢の方でも安心して観客席を利用できる施設を目指して計画しており、一部をスタンド席とすることでBコートにより見回しやすくなるよう配置しています。

配置兼屋根伏せ図
scale 1/600



スロープから西観客席をみる



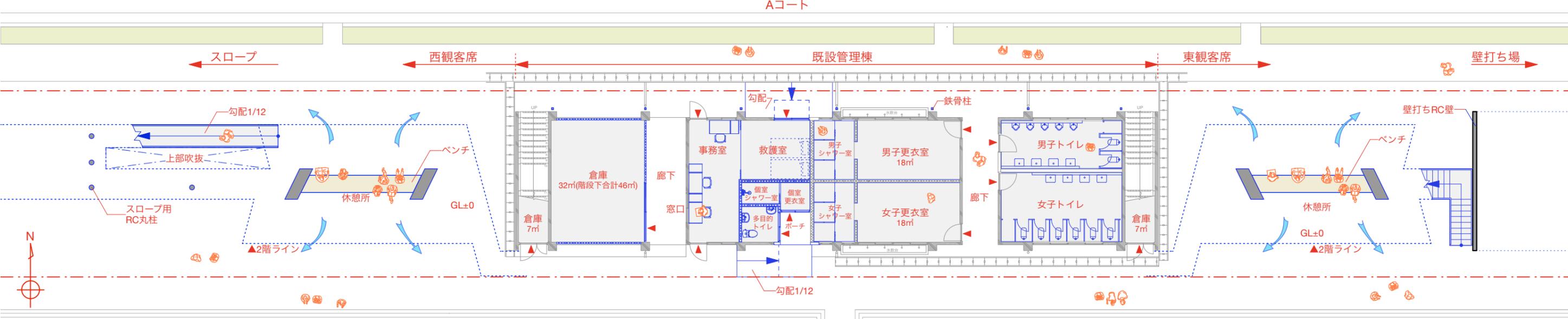
2階既存改修計画

- ・北側の既設腰窓を撤去し、セットバックさせて窓を設置することで半屋外空間であるテラスを創出します。
- ・北側の既存柱からの片持ち庇を撤去し、デッキスラブと鉄骨柱によりテラスを改築します。
- ・既存廊下の腰壁を一部撤去し、東西の新設施設と2階で行き来できるようにします。

2階新設計画

- ・東西に分割した観客席をさらに南北に2列づつ配置することでゆとりのある観客空間を計画します。
- ・車イスの利用スペースを兼ねたスタンド席を設置し、広い中廊下と合わせて画一的な空間にならないよう配慮します。
- ・中廊下沿いに屋根を支える鉄骨柱を集中して配置することで観客席の視線に配慮します。

2階平面図
scale 1/200



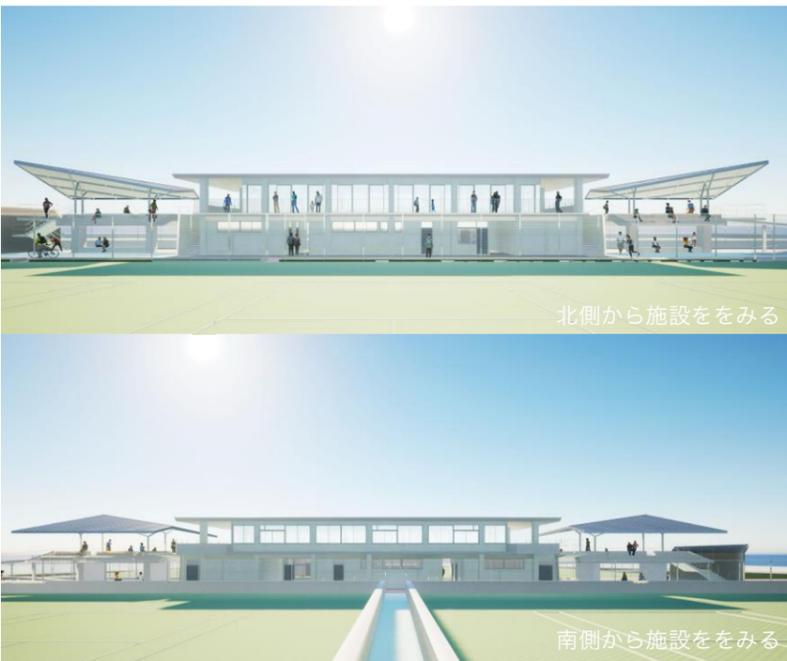
1階既存改修計画

- ・男女別のトイレ、更衣室、シャワー室はコストに配慮して、配置を変えず内装と設備改修に努めます。
- ・救護室の開口部は広い出入り口に変更し、事務所と隣接、または一体的な利用を提案します。
- ・多目的トイレと個室更衣室、個室シャワー室は南側の一箇所にまとめ、必要面積に合わせてCB間仕切り壁を増築します。
- ・既存のピロティ部分の一部に壁と開口部を増設し、事務室の受付窓から見える位置に倉庫を設置します。

1階新設計画

- ・建物を支えるRC壁柱の間にベンチを設置し、南北両方に開けた休憩所を東西の両方に計画します。
- ・2階観客席を2列に抑えたことで1階の休憩所が利用できる高さ確保しています。
- ・東側に2階へ上がる階段を設置し、その側壁を利用して壁打ち場を計画します。

1階平面図
scale 1/200



既存管理棟2階部分改修コンセプト

テニス施設の中央に既設管理棟があり、その2階部分では会議室や大会運営本部のみが配置されており、少し閉鎖的な印象を受けました。そこでセンターコート側でもある会議室の北側腰窓を撤去し、セットバックして新設窓を設置することで半屋外空間のテラスを創出し開放的な2階空間を計画します。また大会時には一般客のスタンド席として、スポーツをより楽しむことができる空間として活用できます。一般客の利用や手すりの設置に配慮し北側既存柱からの片持ち庇は撤去し、デッキスラブと鉄骨柱によりテラスの床を改築します。また会議室内部には断熱材と天井を設けることで間仕切り壁に対応しつつ空調などのランニングコストを抑える計画としています。

